

令和8年2月2日発行

校長 鈴木 和彦



横尾中学校 学校だより

校訓「自立」＜学校スローガン:「Challenge」～I can do it.～＞

【2年生修学旅行に行ってきました】



1月21日(水)から23日(金)の3日間、大分県と福岡県に行ってきました。1日目と2日目は九重森林公園スキー場に行きました。極寒でスキー研修ができるかと心配していましたが、スキーウェアを着、日差しを浴びると意外に寒くなく、スキーをすることができました。最初は雪の上で立つことができませんでしたが、2日目の午後には列をつくって斜面を颯爽と滑る姿を見て、すごいと感心しました。

ホテルでも夕食では、男子生徒の食べっぷりに驚きました。ご飯を7杯もおかわりしている人がいたのです。

3日目は太刀洗平和記念館とヤクルト工場を見学し、平和教育とキャリア教育を行いました。

今回、一番関心したのは実行委員長の城代さんをはじめとした各班のリーダーたちが自分たちでどうしたら楽しめるのか、充実するのか考え行動したことです。たった3日間ではありましたが、とても成長したのではないのでしょうか。今後の学校生活につなげることを期待します。

ここで修学旅行の生徒の感想文を一部紹介します。

今回の修学旅行で印象に残ったことは4つあります。1つ目はスキーです。正直行く前は本当に楽しいのかわからなかったのですが、あまり楽しみではありませんでした。でも、白銀のゲレンデと上からすべると意外に楽しくて、2日目の最後には「もっとしてきたいな」と強く感じるほど楽しくなってしまう、長崎ではできない経験をして、とてもいい機会でした。2つ目はホテルの露天風呂です。今まで見たことないほどの絶景と硫黄の香りのする温泉がとても気持ち良かったです。3つ目はレクです。バスやホテルでレクリエーションをしましたが、あまりみんなで集団レクなんてはしないので、どうなるか心配でしたが、いつもの元気が発揮されて想像以上の盛り上がりでとても楽しかったです。4つ目は部屋で友達と過ごしたことです。友達と一緒に寝ることはないのですが、意外な一面や知らなかった良い一面が見ることができたので、とても有意義な時間でとても楽しかったです。

まず、私は「修学旅行が終わってほしくない」と思えるくらい、充実した修学旅行にすることができたので嬉しかったです。最高な修学旅行で終わることができたのは、生徒一人ひとりの心がけや先生方や保護者、その他の関係者の方々の協力があってこそだと、振り返ってみて強く感じました。また、この修学旅行を通してクラスメイトや班員との協力を深められただけでなく、友達の良くも悪くも(?)も意外な一面を知ることができました。小学校の頃よりお互いに成長していることを感じられて、とても頼もしく思いました。スキー研修やホテルチェックインの際など、大きくハキハキした声であいさつができたことは、個人的にとっても良かったと思いました。常に感謝の気持ちを忘れず、それをしっかり態度に表すことが大切だと実感することができました。今回の修学旅行はテーマである「七転八起」のもと、たくさんのことを身をもって学びました。この経験は絶対にこれからの人生で役に立つと思っています。ずっと待ちわびてきた修学旅行が、こんなにも一瞬で過ぎてしまうのかと少し名残惜しく感じました。

修学旅行の3日間は、あっという間だったけど、心に残ることがたくさんありました。行く前は行きたくないな、3日間とか長いなと思っていたのに、終わってみると一瞬で、今でも少し不思議です。1日目と2日目はスキーをしました。最初はとても怖かったし、全然思うように滑れなかったけど、何度も転びながら少しずつ、滑れるようになって、とても楽しかったです。でも、同じように転んでいる友達を見て笑ったり、励まし合ったりしていくうちに怖さよりも楽しさの方が大きくなってきました。上手じゃなくても同じ場所で同じ時間を過ごしていることがとても楽しくて、寒さも吹っ飛びそうでした。みんなで見た景色や笑顔は一生の宝物です。2日目の夜はイントロクイズをしたり、「横尾塾」がお笑いをしたり、ずっと笑っていました。くだらないことをして、みんなで笑って、これこそ修学旅行だと思いました。3日目はヤクルト工場やお土産屋さん、太刀洗平和記念館に行きました。ヤクルト工場では、いつも何気に飲んでいる飲み物が、たくさんの工程をしていて、多くのことを知ることができました。そして、身近なものでも知らないことが多いんだと思いました。太刀洗平和記念館では、今の平和が当たり前ではないことを改めて感じました。友達と笑って過ごせるこの時間の大切さを考えさせられました。お土産屋さんでは、誰に何をかうかを迷いながら、家族や友達のことを思い浮かべている時間がとても楽しかったです。3日間通して一番心に残っているのは、観光よりもスキーよりも、バスの中の時間です。移動中何気ない話で笑ったり、眠ったり、景色を見たりする時間がとても居心地良かったです。特に帰りのバスでは、みんなで歌を歌って、その空間がとても青春だなと感じました。その時はずっとこの時間が続けばいいのと思っていた。だから、バスを降りたとき、さっきまでの楽しさが急になくなって、とても寂しくなりました。さっきまであった笑い声や歌い声がなくなって、終わったんだと実感しました。この修学旅行はただ楽しいだけでなく友達との距離が近くなったり、何気ない時間の大切さに気づかされた3日間でした。きっとこの3日間は、私の最高の思い出だし、一生の宝物です。そして、関わってくれた人、先生、友達、家族に感謝の気持ちを伝えたい。ありがとう!

今回の修学旅行で一番印象に残っているのは、スキー体験です。最初は雪の上に立つことすら難しく何度か転んでしまって「本当に滑れるようになるのか」と不安になりました。しかし、インストラクターの方にコツを教えてもらい、練習を繰り返すうちに少しずつ滑れるようになりました。自分の力で滑ることができた時の爽快感は忘れません。次に訪れた太刀洗平和記念館では命の尊さについて深く考えさせられました。当時の資料を目にして今の僕たちの平和な暮らしが多くの犠牲の上に成り立っていることを学びました。直接見たりすることで平和の大切さを改めて強く実感することができました。また、ヤクルト本社福岡工場ではいつもスーパーで見かけるヤクルトがあんな巨大な機械でハイスピードで製造されていて驚きました。品質管理の方法などもとても勉強になりました。また、最初にいただいたヤクルトも美味しくて良い思い出になりました。この修学旅行を通して、体を動かす楽しさ、歴史の重み、そしてものづくりの工夫という全く違う3つの視点から多くのことを学ぶことができて、とても充実した3日間でした。この経験をこれからの学校生活に活かしていきたいです。

【今後の予定】

2月 4日(水)	2年生調理実習
2月10日(火)	1年生 食料事情講話
2月16日(月)	公立高校入試事前指導(3年生)
2月17日(火)	公立高校入試(3年生) 1・2年生学年末テスト 全学年給食なし
2月18日(水)	公立高校入試(3年生) 1・2年生学年末テスト 全学年給食なし